

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104480
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 唐湊の家
所在地	鹿児島県鹿児島市唐湊3丁目2番4号 (電話) 099-254-6066
自己評価作成日	平成26年12月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員はいつも笑顔で入居者様の思いに耳を傾け、「したいこと・して欲しいこと」ノートを作成し、職員が共有することで、ささやかでも希望が叶えられるように努力している。職員の異動、入居者様の入退居も少なく馴染みの関係性も出来ており家事やレクリエーションなど一緒に楽しみながら生活している。個別の外出や季節に合わせた行事などを多く取り入れ戸外へ出かける機会を作り、ホームに閉じこもる事無く自宅での生活の雰囲気に近づけるよう、家族や地域と共に支え合い暮らしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・町内会の一員として地域行事や資源回収に参加している。近所の商店が多いので、散歩をかねて馴染みの店で買い物をしている。婦人会のメンバーや知人や馴染みの人達がよく面会にきて交流が行われている。
- ・運営推進会議には関係者が多数参加し、ホームの活動状況や利用者の様子の報告・外部評価結果報告をしている。消防訓練も一緒にしたり、参加者からの意見や提案をサービス向上に活かしている。
- ・「身体拘束はしない」を目標に勉強会を行っている。言葉かけにも気を配り職員間でお互い気づいたら注意し合うようにしている。日中は玄関の鍵もなく自由に入り出しができるようにして、職員で見守りを行なっている。
- ・年2回消防署に来て貰い、夜間想定の避難訓練を行っている。非常時の一時待機は駐車場にしている。防災器具や備蓄品もある。
- ・人格の尊重とプライバシーの確保について、ミーティング等で事例を出し、勉強会を実施している。言葉のかけ方にもプライバシーを損ねないように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全員で理念を作成し、年1回理念について振り返る機会を設け理念を意識しながらケアを行うように努めている。また朝礼にて唱和している。行事などで地域との交流を行い顔見知りの関係性を築く努力をしている。	理念は全職員で話し合って作られたもので、毎年、理念の振り返りについて意識アンケートで再確認し、毎朝、朝礼で唱和し、地域との交流を大切にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃から近所への買物・散歩時に挨拶を交わし馴染の関係性が出来るよう努めている。また敬老会・新年会等事業所の行事へも地域の方や学生ボランティアに参加していただいている。資源回収や夏祭り・おはら祭り等地域の行事にも参加している。	町内会の一員として、民生委員や町内会長などから協力を貰っている。地域行事や資源回収に参加している。近所に商店が多く、散歩をかねて買い物したり、馴染みになり声かけをして貰ったり、近所からおすそわけもある。婦人会のメンバーや知人や馴染みの人達がよく面会にきている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所への買物は入居者と一緒に行き認知症の方の理解に努めている。行事にも地域の方に参加していただき一緒に楽しむことで理解を深めていただいている。また人材育成の貢献として実習生の受け入れも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方から町内会の行事予定（資源回収等）を教えていただきたりし地域との交流や事業所として地域に貢献出来る事はないか等提案・意見交換を行っている。又利用者の状況や活動報告・苦情相談・事故報告・評価の報告も行っている	会議は定期的に開催している。ホームの活動状況や利用者の様子報告・外部評価の結果報告もしている。消防訓練も一緒にしたり、参加者からの意見や提案をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	年1回相談員の受け入れをしている。又入居待機者の報告・生活保護課への相談・報告、介護保険課への事故報告を行っている。	行政との連携を大切に生活保護課は特に報告相談を行なっている。書類提出は直接出向いて提出している。鹿児島市や包括支援センターなどから情報や研修案内がくるので積極的に参加している。年1回相談員の受け入れもしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	隔月身体拘束について意見交換や勉強会を行なっている。原則・弊害についても理解し身体拘束と思われるケアがないか確認を行っている。日中は玄関は施錠せず、職員間で連携を図り、玄関先で外の空気を感じられたり、各階を行き来するなど自由な暮らしを支援している。	グループの管理者会議や委員会があり「身体拘束はしない」を目標に勉強会を行い確認と認識を深めている。言葉かけにも気を配り職員間でお互い気づいたら注意し合うようにしている。日中は玄関の鍵もなく解放されて自由に出入りができ、各階も自由に交流でき、職員の見守りを徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	隔月日々のケアの中で虐待について振り返る機会や他事業所などでの事例を確認したりして意見交換を行っている。外部への研修参加や勉強会を通じて虐待の意味を理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修へ参加し、内部研修にて全職員へ研修報告を行い理解を深めるようにしている。必要に応じてご家族にも説明し、社協への金銭管理委託をされたり、成年後見制度を活用されている方もおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約前は利用者本人やご家族に直接会い話をし不安や疑問・思いを伺い又事業所を見学していただき雰囲気や状況を理解・納得した上で入居を進めようとしている。契約時は重要事項説明書に基づいて十分な時間をとり説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には意見箱を設置したり、コミュニケーションを大切にしニーズの本質を引き出せるように努めている。利用者は日々の生活の中で思いを受け止め、コミュニケーションを図り何でも話せる環境作りに努め思いに添えるよう努力している。	利用者や家族の声を大切にし、要望や意見が出やすい雰囲気を積極的に作っている。運営推進会議や各行事、日常の面会などの機会にコミュニケーションを図り、ノートに会話の記録を細かく記載し、職員全員で共有し、ミーティングやアセスメントに活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティング時等、意見や提案を聞く時間を設け常に検討・意見交換を行なっている。又年1回の個々の反省や抱負なども参考にし、運営に反映できるよう努めている。	管理者とは職員会議や日常的にいつでも相談でき、職員間の人間関係もよく、意見やアイディアが取り入れられ、働きやすい職場になっている。勤務の急な変更も職員でお互いに調整して勤務変更を行い、管理者に報告している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	ミーティング時等困り事や業務内容について意見を聞くようにし、入居者の状況を踏まえた上で業務内容の変更や勤務体制の工夫をする等業務改善に努めている。希望の休みや研修費の支給など考慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加を支援し研修参加後はミーティングで報告し全職員が共有できるようにしている。日々のケアの中で（介助法等）不安がある時はその都度資格保持者や経験者が指導できる環境作りに努めている。他GHへの研修も行なっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同業者が集まる管理者会議に参加し、交流・意見交換を行っている。職員は他の事業所へ出向・助勢をし個々のケアや環境づくりについて考えたり、他事業所と交流できる機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に自宅や施設に出向き必ず本人と直接お会いして話しをし、本人が置かれている状況や不安を受け止める努力をしている。小まめな声掛けや傍に寄り添うことで不安や寂しさを軽減出来るように努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人が置かれている状況や経緯を踏まえ繰り返し話しをすることやアセスメントシートを利用するなどして家族が何を求めているかを受け止め事業所の運営理念やサービスを実際に見ていただき信頼関係を築く努力をしている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の現況・思いを受け止め状況に応じて協力施設で待機して頂いたり、他のサービスを紹介したり、早急な対応が必要と思われるときは他の事業所への紹介をしている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に方言や昔からのならわし、食材の調理の仕方などを教えていただき感謝の言葉を伝えるようにしている。また家事など協働で行い、一緒に楽しめる努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には日々の生活ぶりや身体状況など面会時やお便り・電話などで小まめに報告を行うようにし、電話での報告時は入居者に代わり直接声を聞いて頂いている。また行事の時は声をかけ一緒に参加していただいている。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の制限をせず、いつでも誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気作りを行っており、婦人会の帰りに立ち寄ってくださるご友人もおられる。又墓参りへの支援やご家族への面会などの支援も行っている。	家族と住んでいた家の近くにドライブしたり墓参りに行ったりなど、関係性が継続するよう支援している。今までの知り合いや馴染みの人がよくおとずれお茶を飲みながら交流できるようにしている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し状況に応じて席替えをしたり、会話の間に入つて関係性が上手くいくように努めている。また家事作業や物作りなど利用者同士で協力しながら行なえる環境作りに努めている。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期療養のため入院となり退去された方のお見舞いに行ったりその後の生活の為の相談に応じたり他施設を紹介するなどして支援に努めることとしているが本年の該当はなし。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>家族や本人とのコミュニケーションを深め家族との面会時の会話や本人が日常生活の中で発する言葉や表情、行動などを記録し意向や思いを受け止め全員で共有し、検討しながら出来るだけ実現できるよう努めている。</p>	<p>日々のかかわりの中で行動や会話などから真意を推し測り、記録に残し全職員で共有している。意思疎通が困難な場合、家族から情報を得るなどして本人本位に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時のアセスメントシートを利用したり、ご家族や地域の方に話を聴いたり、本人の会話の中で生活環境や私暦を見つけ把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>食事や家事、レクリエーションなど一緒にいながら本人の表情や行動で現状を見極め、拡大・実践していく。またアセスメントシートや個別記録・身体状況表等によって現状把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントシートに職員全員で気付きを記入しミーティングで現況や問題点、ケアの方法等意見を出し合い介護計画の作成へつなげている。また面会時や電話での現況報告時には家族の要望を聞き本人も含め意見交換を行っている。</p>	<p>利用者や家族の思いや意向を十分聞き取り、主治医や看護師など関係者からも意見を聞いて、本人の課題分析をして、計画原案を作り、本人や家族の了解のもとプラン遂行をしている。モニタリングをしながら臨機応変にその都度見直しを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護サービス実施記録に日々の気づきや実践を記入し申し送りノートや朝の申し送り・ミーティングで情報を共有している。また身体状況表や医療の記録も職員が確認することとなっており状況を把握している			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診支援やドライブ、墓参り、外食、外出など本人の希望やご家族の状況に応じて柔軟に対応している。入院となった場合の早期退院の支援、他事業所への紹介など必要に応じて行っている。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	担当分遣隊の協力・指導の下、民生委員・ご家族にも避難訓練に参加していただいている。また事業所の行事を公民館で行い地域の方が参加されたり、地域の行事への参加を行い協働して支援出来るよう努めている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望や状況に応じたかかりつけ医となっている。協力医の受診支援や状況や必要性に応じて協力医以外の受診についても支援しご家族への報告を行っている。状況に応じてご家族の同行も頂き適切な医療を受けられるようにしている。小まめな観察を行い病気の早期発見・早期治療に努めている	契約時にかかりつけ医の希望を聞いて、受診を支援している。既往歴を把握し急変時など変化を観察し情報を医師と家族に報告し早期発見と適切な対応を医師の指示で行っている。家族が受診同行できない場合は職員で受診支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内の看護師資格を有する者を中心に入居者の健康管理を行っている。協力医の看護師や訪問看護師にもいつでも相談し、助言を受けられる関係作りが出来ている		
31		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は本人の状況や支援方法等の情報を医療機関へ提供し面会等を小まめに行い本人の状態を確認したり経過を主治医や家族と直接話をしたりして速やかな退院支援につなげている。本年は入院者なし。		
32		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	「重度化や終末期における介護指針」を作成し入居時や状況に応じて説明や話をしている。基本的には看取りはしないこととしているが、本人や家族の思い、家族や医療機関の協力体制を踏まえ現実的な方針を繰り返し検討し可能な場合、安心して最期が迎えられる様皆で協力し支援している。	重度化や終末期の介護指針があり、契約時に説明し同意をもらっている。重度化傾向と共に段階的に説明している。本人や家族の思いが強く、家族の協力があり、医療体制が整った状態にある時はホームでぎりぎりまで看取りの支援を行なっている。	
33	12				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	殆んどの職員が普通救命講習を受講し応急手当や初期対応が出来るようにしている。またマニュアルに添って定期的に振り返り練習しながら実践力をつけている。急変時は協力医療機関のホットラインを利用し支援している。			
35 13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	担当分遣隊の指導の下、入居者・職員で年2回避難訓練を行っている。地震や水害等の災害時の対応についても質疑・応答を重ね、アドバイスをいただいている。緊急連絡網や持ち出し簿の作成、非常用の飲料水・備品の確保もしている。	防火管理者がいて器具の点検などを行なっている。年2回の夜間を想定しての訓練を含めて消防署に来てもらい訓練を行っている。非常時の一時待機は駐車場にしている。防災器具や非常時の水等の備蓄品もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>倫理綱領や行動指針、プライバシー保護マニュアルに添って行動や思いの振り返り、勉強会を行っている。利用者を尊厳し近すぎず、遠過ぎない関係性を保てる声掛けや支援の工夫を行っている。また職員同士互いに言葉かけや対応を注意し合える環境作りに努めている。</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの確保についてミーティング等で事例を出し、勉強会を実施している。言葉のかけ方にもプライバシーを損ねない、本人を傷つけないように、個人を尊重して気配りをしたケアを行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者と一緒に献立を考えたり、行事や外出、入浴の希望など本人の思いに添ってできるだけ支援できるよう、一日の業務にとらわれないように努めている。また思いや希望をゆっくりきける環境作りに努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床・就寝時間、朝食・入浴時間などは自由であり個々に過ごしておられる。外出や買物・外食など出来るだけ対応できるように入浴日や日課は重視せず臨機応変に行なっている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>個々に応じて美容院への送迎支援を行っている。衣類などの購入や買物、コーディネートの声掛けや支援も必要に応じて行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力量にあわせて買物・下ごしらえ・調理・盛り付け・片づけ等楽しみながら一緒に行っている。誕生日には本人の希望を聞き好みの物を提供し食事を楽しんでいただいている。希望に応じてアルコールの提供や嫌いな献立時は代替え献立にて提供している。	近隣に商店があるので一人ひとりの機能に合わせて買い物にかけたり、調理の準備などを会話をしながら一緒に行なっている。行事食や季節の食品を使い美味しく食べられるようにして、食事を生活動作を広げる場、楽しむ場になるような支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し摂取量に応じてジュースやゼリー、経口栄養剤などによって一定量を確保出来るように支援している。また状況によっては好物の購入・提供を行なっている。定期的な受診や体重測定、BMIの測定をし状態の確認を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。定期的に歯科受診し口腔内のチェックをしていただいている。状況に応じて歯間ブラシなどを使用したり自立の方へは声掛けをしたり再度チェックを行う等している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プランの見直し時や必要と思われる時などアセスメントシートにて排泄パターンを把握し、個々の時間に合わせ誘導や声掛けを行っている。状況に応じて紙パンツから布パンツへ移行したり全介助の方も日中はトイレを使用し気持ちよく排泄できるように支援している。	排泄リズムをチェック表や本人の表情やしぐさなどから、尿意・便意を把握して、できるだけトイレで気持ちよくできるようさりげない声かけと羞恥心に気を配りながら個別に自立支援をしている。失禁時は手際よく対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	身体状況表にて排便チェックを行い主治医と相談しながら服薬調整を行っている。又必要に応じて牛乳やジュース等で水分を補い摂取量の確保や野菜を多く摂取できる献立作りに努めている。ラジオ体操や歩行運動の声かけを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間を決めず入りたいと思うときに出来るだけ入れるように支援している。個々の思いに添って同性介助にしたり無理強いをせず気持ちよく入浴できる声掛けに努めている。	入浴は回数は決められているが曜日や時間は利用者の希望を優先して気持ちよい入浴を支援している。入浴が利用者の気持ちをゆったりとさせ、楽しい時間となるよう入浴剤を使用したり工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間や就寝時間は決めず寝たい時に寝て起きたい時に起きていただけるように支援している。日中は適度な運動を声掛けし夜間ぐっすり眠れるように努めている。また自由に昼寝や居室でゆっくり過ごせるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療の記録や個別記録で個々の状態を把握し内服薬ファイルを使用し効能や副作用などを職員が把握できるようにしている。状態変化については受診時、主治医へ相談し処方の変更があった時は、状態の観察を行い主治医へ報告している。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・調理・盛り付け・茶碗拭き・洗濯物たたみ等個々の能力や得意分野について力を発揮できるよう支援し感謝の言葉を伝えるようにしている。レクリエーション等は無理強いをせず好きなものに参加している。希望に応じて菓子などの購入も行っている。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物や散歩、散髪・外食・墓参り等出来るだけ希望に添えるように支援している。おはら祭りや夏祭り、敬老会・新年会等ご家族や地域の方と協力し楽しんで頂いている。	天候状況や体調がよければ、外気浴で近隣を散歩したり商店へ買い物をして地域交流をしている。希望を聞いてコスモス見学、みかん狩りなど季節に応じた外出をしている。地域の行事に家族や地域の住民と見学をしている。家族とドライブをして墓参りや病院受診をして帰りに外食もできるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いはホームで管理を行っている。個人で財布を持っていただいている方もおられるが個人の財布を使われることは殆んど無くまた管理も困難である。能力に応じて自分で管理し自由に使えるように支援して行きたい。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に応じて電話をかけたり、遠方のご家族や面会の少ないご家族には電話で話しが出来るよう支援している。贈り物などのお礼はできるだけご本人にして頂いている。また届いた手紙への返事の支援も声掛けしている。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は季節の花を飾り、金魚観賞も出来、ゆっくり過ごせる空間作りに努めている。リビングや廊下の飾りつけ等入居者と一緒に季節に合わせた物を作り飾り付けを行っている。トイレや居室も消臭剤を使用するなどして気持ちよく過ごしていただけるよう配慮している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にソファーを置いたり、玄関周りに椅子や縁台を置き個々にゆっくり過ごせるような環境づくりを行っている。廊下での歩行運動も気の合う同士で楽しみながら行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や思い出の写真、パッチワーク・花等を飾られたりテレビや冷蔵庫・テーブル・椅子などを持ち込み心地よく過ごせる環境づくりを行っている。	居室は明るく個別にきちんと整理され、自宅にいるころ普段使ってきた馴染んだ品物やホームでの行事のときの写真や家族との写真・レクリエーションでの作品が飾られている。安全で日常生活が落着いて過ごせる温かい雰囲気になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場は目印やのれんをかけたり居室には表札を設置したりしてわかりやすくしている。身体の状態や体調にあわせベッドをかえたり、手すりを設置するなどして安全に行動できるようにしている。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない